

幌延町 こども議会 5月13日

幌延町議会では、次世代を担う子ども達が議会の仕組みや町の将来について考え、質問する「幌延町こども議会」を5月13日(金)に開催しました。

目的や質問内容及び答弁要旨は、『ほろのべの窓』6月号に掲載されましたので、ここでは子ども達の感想を一部抜粋して掲載します。



答弁も納得する答えで、町長の考えがすごいと思いました。

○大人にはあまり分からないことを、子どもから意見を言うことで、幌延町を少しでも良くするポイントだと感じました。

○「議会の大切さ」「これからの幌延」など、色々なことを学びました。この貴重な体験を、これからの生活に活かしていきたいです。

○普段、幌延町のことを考えたことはありません。

したが、こども議会をやることになってから、町の建物や道路を観察してみたり、町の人に困っていることを聞くなどして、町のことを考えるようになりしました。今回学んだことを、中学校生活や18歳になって選挙権を得た時に思いだし、自分の人生に活かしていきたいと思いました。

○まちづくりは難しいと思っていました。町長さんの話を聞いて興味が出てきました。現実には、

○「こども議会」を終えて、今後の課題について委員の意見を聴取した。

こども議会について

「こども議会」を終えて、今後の課題について委員の意見を聴取した。

○子ども達の感想文から、我々が当初目指していた思いが伝わっていたと感じた。幌延中学校のご協力に感謝申し上げます。

○我々も子ども達も良い経験をしたと思う。町民の方も良い試みだったと言ってくれている。選挙権が18歳に与えられる中で、子ども達が政治について考える良い機会になったという意見もいただいた。

○緊張している子が多かったです。議会の形式にとられ過ぎたかなと思う。町長の答弁が難しかったと書いている子が何

簡単にならぬことが出来ないこともあると分かりました。今回質問した意見は、これからの幌延町にとって役立つものだと

と思いましたが。○選挙権が与えられる18歳になつたら、しっかりと投票し、地域社会に貢献していきたいと思えます。

第3回 情報推進常任委員会報告 6月8日



人かいた。子どもの分かる言葉で答弁して欲しいなと思った。

○参加する側も、見ている側も良い結果になったと思う。我々も子ども達の様子を見て、また一層議員活動に励みたいと思つた。今回、大勢の方が傍聴に来てくれたが、我々の議会にも同じくらい来てもらうにはどうしたら良いかと、改めて考えさせられた。